

東京歯科大学千葉病院手術室で手術を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学千葉病院において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

現在、東京歯科大学千葉病院では「顎変形症患者における鼻腔内の形態について」という調査を行っています。

全身麻酔では呼吸管理のため、鼻から気管にチューブを入れて人工呼吸を行う、経鼻挿管という操作を行います。顎変形症の患者様では鼻腔の形態に様々なバラエティがあり、稀に、挿管の際、チューブが損傷されることがあります。この研究は全身麻酔下で顎変形症手術を受けた患者様の麻酔記録と術前の CT での鼻腔の形態の評価を行うことにより、どのような状況の時に経鼻挿管時のチューブの損傷が起こりやすいのかを調べる調査です。より安全な麻酔管理法の検討を行い、今後提供する医療の質を高めていくための資料を得ることを目的としており、患者様にとっても有益な研究となり得るものです。

詳細に関しましては、以下の内容をご確認ください。

1. 調査の対象となるのは、当院手術室にて 2016 年 1 月～2016 年 12 月の期間に顎変形症の手術を受けた患者様です。
2. 性別、年齢、身長、体重、麻酔時間、手術内容、麻酔方法、挿管方法、挿管回数、気管チューブの種類、チューブ損傷の内容、鼻中隔弯曲の程度、鼻中隔の骨の突起、鼻腔の幅などについて、調査担当歯科医師が対象となる患者様の症例調査票を作成します。
3. 症例調査票には、住所、氏名など患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。
4. 本研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。個人情報は発表に使用した後、一定の期間をもって破棄いたします。
5. 研究への協力は患者様の自由な意思で決定できます。研究に協力いただけない場合は申し出ていただければ、どの段階においても撤回することが可能です。協力が得られないことで診療上いかなる不利益も被ることはありません。
6. 本研究についてご質問あるいは疑問があるときには、いつでも下記担当歯科医師、あるいは問い合わせ窓口にご連絡ください。
7. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先 研究責任歯科医師 川口 潤
東京歯科大学歯科麻酔科 (Tel: 043-270-3902)